

# 平成 28 年度 事業報告

## 1. 古紙品質安定対策事業

### (1) 古紙品質調査事業

古紙の品質維持向上を図るための基礎情報を収集するため、関東地区の製紙工場(年間:段ボール 10 ベール、新聞 8 ベール、雑誌 20 ベール)、中部地区の製紙工場(年間:段ボール 7 ベール、新聞 4 ベール、雑誌 8 ベール)、近畿地区の製紙工場(年間:段ボール 11 ベール、新聞 2 ベール)において古紙を開梱し組成調査を実施した。

### (2) 古紙品質情報ネットワークの運用

関東地区委員会を通じて、古紙の品質情報を製紙工場、古紙問屋等に提供した。

平成 28 年度は臭いのついた紙によるトラブルの発生がなく、原因別のトラブル件数は、昇華転写紙 32 件、ロウ引き段ボール 21 件、感熱性発泡紙 13 件であり、トラブル件数の合計は 66 件であった。

### (3) 個別古紙品質対策

昇華転写紙によるトラブルが 4 月から 6 月にかけて頻発したことから、昇華インクや昇華転写紙の利用状況を調査した。トラブルの主な原因は、輸入された靴や靴などの詰物(型くずれ防止用の緩衝材)に利用された使用済み昇華転写紙であり、これまでの調査結果と同様であった。昇華転写紙の古紙への混入防止を図るため古紙問屋を通じ集荷業者へ周知徹底を行い、トラブル発生を抑制した。

オーストラリア産ブドウの梱包に利用されるロウ引き段ボールを原因とするトラブルが 4 月から 5 月にかけて頻発し、当該トラブルを防止するために、一般社団法人日本チェーンストア協会、一般社団法人日本スーパーマーケット協会、一般社団法人新日本スーパーマーケット協会及びオール日本スーパーマーケット協会を訪問のうえ、ロウ引き段ボールが古紙に混入しないよう四つの協会傘下会員への周知徹底を要請するとともに古紙問屋における選別強化及び製紙工場における検収強化について周知徹底を行った。当該トラブルは 7 月に終息した。

さらに、平成 29 年のオーストラリア産ブドウの輸入に伴うトラブルを防止するため、2 月に上記の四つの協会に同様の要請を行うとともに古紙問屋及び製紙工場に注意喚起を行った。

## 2. 広報宣伝事業

### (1) 紙リサイクル意見交換会

雑がみの品質に関し、静岡地区、中部地区の 2 市で意見交換会を実施した。

地方自治体との連携を強化し紙リサイクルの促進を図るために、古紙回収の現状及び課題等について地方自治体と古紙問屋、製紙メーカー等が意見交換を行う紙リサイクル意見交換会を埼玉県、東京 23 区で次年度に開催すべく、平成 28 年 11 月、12 月に埼玉県内各地域の自治体を訪問のうえ、趣旨について説明し、平成 29 年度に埼玉県、東京 23 区で実施すべく調整していくこととした。

### (2) 紙リサイクル出前授業

小学生高学年を対象に紙リサイクルへの理解を深め、紙リサイクル体制の維持・発展に資す

るため、センターが作成した紙リサイクル教材を使用し、全国各地で下表のとおり出前授業を実施した。

実施校数は41校となり、前年度より2校増加した。関東地区では平成28年度が初めての出前授業となった。

地区	実施日	対象学校	参加児童数
北海道	平成28年11月22日	札幌市立二十四軒小学校4年生	74名
東北	平成28年7月27日	青森市立浦町小学校4年生	15名
	9月13日	南相馬市立太田小学校4年生	10名
	9月15日	東松島市立鳴瀬桜華小学校4年生	36名
	9月16日	石巻市立須江小学校4年生	44名
	9月28日	石巻市立中里小学校4年生	50名
	10月21日	石巻市立石巻小学校4年生	48名
	10月28日	石巻市立湊小学校4年生	27名
	11月17日	石巻市立山下小学校4年生	34名
関東	平成28年5月31日	加茂市立加茂小学校5年生	41名
	7月1日	加茂市立加茂南小学校4年生	33名
	9月10日	荒川区立第三日暮里小学校4年生	59名
静岡	平成28年9月27日	富士市立神戸小学校4年生	27名
	9月28日	富士市立大淵第二小学校4年生	6名
	9月30日	富士市立田子浦小学校4年生	156名
	10月18日	富士市立吉永第二小学校4年生	23名
	11月16日	富士市立吉永第一小学校4年生	65名
	11月21日	富士市立原田小学校5年生	61名
中部	平成28年5月12日	名古屋市立味鋺小学校4年生	121名
	5月26日	名古屋市立日吉小学校4年生	53名
	5月31日	名古屋市立小幡北小学校4年生	55名
	5月31日	名古屋市立弥富小学校4年生	101名
	6月3日	名古屋市立甘軒家小学校4年生	99名
	6月9日	名古屋市立春岡小学校4年生	46名
	6月14日	名古屋市立森孝西小学校4年生	51名
	6月17日	名古屋市立川原小学校4年生	69名
	6月22日	名古屋市立植田北小学校4年生	77名
	6月28日	名古屋市立大野木小学校4年生	75名
	6月30日	名古屋市立栄生小学校4年生	20名
	7月5日	名古屋市立内山小学校4年生	18名
	7月6日	名古屋市立大清水小学校4年生	181名
	7月13日	名古屋市立城北小学校4年生	89名
	7月15日	名古屋市立陽明小学校4年生	127名
	9月28日	豊明市立沓掛小学校4年生	67名
	10月19日	名古屋市立平針南小学校4年生	71名
	10月27日	東郷町立諸輪小学校4年生	86名
	11月22日	名古屋市立香流小学校4年生	84名
		平成29年1月20日	名古屋市立日比津小学校4年生
九州	平成28年8月29日	江北町立江北小学校4年生	98名
	9月6日	嬉野市立吉田小学校3・4年生	41名
	平成29年3月9日	武雄市立武雄小学校4年生	66名
実施校数・参加児童数合計		41校	2,561名

### (3) 地区広報活動

各地区委員会が主体となって紙リサイクル啓発活動を下表のとおり実施した。

地区	開催日	開催地	行事名	内容
北海道	平成 28 年 9 月 4 日	北海道 札幌市	リサイクルペーパーフェア	古紙の分別、禁忌品除去、古紙利用促進のPR、紙すき体験、啓発資料・ノベルティ配布等
東北	平成 28 年 9 月 4 日	宮城県 仙台市	エコフェスタ 2016 出展	DVD 上映、紙すき体験、啓発資料・ノベルティ配布等
静岡	平成 28 年 8 月 5 日	静岡県 富士市	静岡県工業技術研究所フェア 参加	古紙分別回収の PR
	平成 28 年 10 月 22 日 ～23 日	静岡県 富士市	富士山紙フェア 出展	禁忌品説明パネル展示、雑がみ回収用袋の配布等
	平成 28 年 10 月 29 日	静岡県 静岡市	雑がみ回収促進イベント	古紙の分別、禁忌品混入防止のパネル展示、雑がみ回収用袋の配布等
中部	平成 28 年 8 月 27 日 ～28 日	石川県 金沢市	いしかわ環境フェア 2016 出展	紙リサイクルに関するパネル展示、古紙利用製品の展示
	平成 28 年 9 月 17 日	愛知県 名古屋市	環境デーなごや 2016 出展	古紙分別のパネル展示、雑がみ・紙製容器包装に関するクイズ、アンケート用紙の配布等
	平成 28 年 10 月 1 日	長野県 長野市	ながの環境フェア出展	古紙回収・利用促進のPR、パンフレット、ノベルティの配布
	平成 28 年 11 月 6 日	山梨県 甲府市	甲府市リサイクルフェア出展	紙リサイクルに関するパネル展示、古紙分別に関するクイズの実施
	平成 29 年 1 月 28 日	愛知県 名古屋市	集団回収実施団体説明会	雑がみ分別回収促進のための説明
近畿	平成 28 年 10 月 8 日	兵庫県 神戸市	グリーンフェスタ こうべ 2016 出展	古紙分別・古紙利用促進のパネル展示、紙すき体験、啓発資料・ノベルティ配布等
九州	平成 29 年 1 月 19 日 1 月 20 日 2 月 10 日	福岡県 北九州市	古紙リサイクル バスツアー	北九州市内の小学校3校の小学生高学年児童を対象に古紙の回収・流通・再生の現場の見学会

#### (4) 紙リサイクル研修会

家庭又は事業所における紙リサイクルを促進させるため、下表のとおり実施した。

開催日	開催地	出席人数	対象者	申込団体等
平成28年 4月14日	京都府 京都市	106名	事業用大規模建築物管理責任者および関係者	京都市環境政策局 北部環境共生センター
5月27日 5月28日	埼玉県 所沢市	198名	集団資源回収実施団体代表者	所沢市環境クリーン部 資源循環推進課
7月25日	鳥取県 鳥取市	67名	自治会役員、商工団体職員、事業所、婦人会、市町村職員	鳥取県生活環境部 循環型社会推進課
7月26日	倉吉市 米子市			
11月22日	石川県 金沢市	20名	石川県再生資源事業協同組合組合員、金沢市環境局リサイクル推進課、石川県中小企業団体中央会	石川県再生資源事業協同組合
平成29年 2月3日	埼玉県 川越市	324名	環境推進員	川越市環境部 資源循環推進課
2月23日	神奈川県 厚木市	46名	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会会員、神奈川県県央地域県政総合センター、相模原市廃棄物指導課	神奈川県県央地区 廃棄物処理業協議会
3月6日	山形県 寒河江市	58名	企業の廃棄物等担当者、市町村及び事務組合の廃棄物担当職員	山形県環境エネルギー部 循環型社会推進課
3月30日	東京都 千代田区	29名	東京都資源回収事業協同組合青年部等	東京都資源回収事業協同組合

#### (5) 紙リサイクルセミナー

古紙の回収、再生利用の促進を図ることを目的に下記のとおり開催した。

日時：平成28年10月6日 13時30分～16時30分

会場：星陵会館 参加者数：245名

テーマ：①「ポストリサイクル64計画目標について－新たな古紙利用率目標の策定－」

日本製紙連合会 常務理事 上河 潔 氏

②「オフィス発生古紙の回収とリサイクル

～未利用古紙の現状と回収促進のために～

有限会社グローバルプランニング 取締役 小笠原 秀信 氏

③「家庭から排出される古紙の現状と古紙利用率の向上に向けた取組みについて」

公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課主任 濱野 彰吾

#### (6) 啓発資料

地方自治体・関係団体等へ、下表のとおり啓発資料の提供と貸出しを行った。

啓発ツール	件数
チラシ、パンフレットの提供	93件
DVDの提供	7件
啓発用パネル(6枚組)の貸出し	5件

## (7) センター会報・古紙統計

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を内容とする会報(年4回、1,010部/回)を発行し、会員、地方自治体、主要図書館等に配付した。

古紙の入荷量・消費量等のデータを収集・整理・分析・加工し、古紙統計を取りまとめ、ウェブサイトにより関係各方面に提供した。

## (8) 顕彰制度(集団回収・回収団体)

### 1) 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(68団体)に感謝状を贈呈した。

推薦地区	団 体 名
北海道	神楽岡3区東町内会、北郷北部町内会、豊川町内会、函館市東山町会、新川みどり町内会
東北	富士見町町会、若松町町内会、花巻温泉公衆衛生組合、山形市立第六小学校PTA、坪沼子ども育成会、角五郎北部子供会、橋本町四行政区、城西リサイクル回収推進会
関東	東島田子供育成会、松伏町立松伏第二中学校PTA、大森台若草子供会、富里市立浩養小学校実行委員会、堀切六丁目町会、綾瀬自治会、馬橋南自治会、深沢ハウス管理組合、紅葉丘三丁目町会、田の上第三町内会育成部、大東町自治会、新川町町内会、自治会法人西一自治会
新潟	新潟市秋葉区新津本町四丁目一区町内会、寺尾駅前第二団地自治会、鳥原新田自治会、小金台睦会、新潟市立松浜小学校PTA、巻婦人会、新潟市立東石山中学校、上藤見町新生クラブ、女池四丁目自治会、クリーン諏訪、加茂市立加茂南小学校PTA・加茂市立若宮中学校PTA、姥ヶ山自治会六丁目町内会、燕小池自治会
静岡	富士市立青葉台小学校PTA
中部	下市場子ども会、広路学区資源回収事業推進協議会、西玉垣自治会、瑞穂市立牛牧小学校PTA、上田市緑が丘自治会、山梨市立加納岩小学校PTA、浜黒崎小学校育友会・浜黒崎児童クラブ、三馬小学校育友会
近畿	乾城子供会、朝日元町東自治会、野中北スカイハイツ町会、佐太東町2丁目子供会、平岡北少年団鶴池隊
中・四国	八雲トップス、川崎子ども会、北泉町内会、東広島市立造賀小学校、石原子供会、緑町子供会、厚生町2丁目町内会
九州	上戸町下の区自治会、湯川2北町内会、西油山ハイツ町内会、長崎市中里町中野公民館、障害者・障害児の生活を豊かにする会、橘地区婦人会、公園通り子供会、健軍校区6町内自治会

### 2) 紙リサイクル関連団体等表彰

近畿地区委員会より推薦のあった近畿製紙原料直納商工組合に平成28年5月開催の同商工組合設立50周年の式典において紙リサイクル団体表彰状を贈呈した。

## (9) 紙リサイクルコンテスト

全国の小中学生を対象に「紙リサイクル」をテーマにした作文とポスターの作品募集を行い、947点の応募があった。全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等で構成される審査委員会による厳正な審査のうえ、金賞・特別金賞・銀賞・佳作の各賞を決定し、金賞及び特別金賞受賞者を招いて表彰式を下記のとおり開催した。

日 時：平成29年1月28日 12時～14時

会 場：東京ガーデンパレス2階「天空の間」

後援： 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会

協力： 教育新聞社

入賞者：

<金賞>

部門	学校名・学年	氏名	作品名
作文	小学生部門 東京都 東京創価小学校4年	萬谷 恵子	思いのこもった 紙のリサイクル
	中学生部門 岩手県立一関第一高等学校 附属中学校3年	千田 愛海	バトンを未来へ
ポスター	小学生 低学年部門 熊本県多良木町立 多良木小学校3年	那須 遼太郎	紙パック あらって 開いて リサイクル
	小学生 高学年部門 佐賀県有田町立 有田中部小学校6年	鷹巣 凌	紙リサイクルは地球と人の プレゼント交換
	中学生部門 福井大学教育学部 附属中学校2年	細川 詩月	みんなで回そう！！ リサイクルの輪

<特別金賞>

部門	学校名・学年	氏名	作品名
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	東京都荒川区立 第三日暮里小学校4年	吉野 映月	(作文) 五十キログラムの古紙で
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	岩手県立一関第一高等学校 附属中学校3年	青江 春菜	(作文) 紙リサイクルを始めた原点
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	山口県岩国市立 灘中学校2年	水上 元晴	(ポスター) 僕たちは大切な資源

<銀賞>

部門	学校名・学年	氏名	作品名
作文	小学生部門 京都府 立命館小学校4年	豊田 賢世	きちんと細かく紙リサイクル
	中学生部門 静岡県浜松市立 西部中学校2年	澤村 紀香	わしは一度では終わらない
ポスター	小学生 低学年部門 京都府 HaNa 芸術教室3年	川島 風太郎	紙があれば なんでもできる！
	小学生 高学年部門 山口県岩国市立 灘小学校4年	原田 乙花	紙は 生きかえる
	中学生部門 福井県福井市立 灯明寺中学校1年	小倉 侑実	紙リサイクルで森を守ろう！

<佳作>

部 門	学校名・学 年	氏 名	作 品 名
作文	小学生部門	福岡県福岡市立 別府小学校6年	古谷 権 植林から学んだ意識
		神奈川県横浜市立 二谷小学校6年	江本 真太郎 地球の未来を守る 小さな一歩
	中学生部門	長野県 学校法人教学園中学校1年	糸井 大哲 ぼくにもできるリサイクル
		滋賀県彦根市立 西中学校1年	若林 明日風 わが家は日常リサイクル
ポ ス タ ー	小学生 高学年部門	青森県八戸市立 小中野小学校6年	高橋 桃華 みんなで紙リサイクル
		愛知県知立市立 猿渡小学校5年	下川 芽生 1人だけでなく だれでもできるリサイクル
	中学生部門	東京都 聖ドミニコ学園中学高等学校1年	米波 桃花 小さな選択が 大きな未来を変える！
		山口県岩国市立 灘中学校2年	杉本 光暖 たくさんの捨てない心が 未来生む

(10) グリーンマーク

平成 28 年度の表示承認申請については下表のとおり承認した。

表示承認	平成 28 年度	累計事業者数	前年度累計事業者数
事業者数	5 事業者 (新規承認事業者 1)	176 事業者	175 事業者
件数	5 件	648 件	643 件

表示内容変更承認	平成 28 年度
事業者数	5 事業者
件数	5 件

3. 調査研究事業

(1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

1) 家庭向け新冊子作成

製紙・古紙・回収業界からなる委員会を設置し、古紙の分別、雑がみ、古紙に混ぜてはいけない紙類(禁忌品)などを中心に、一般家庭の排出者を対象になぜ分別が必要なのかを説明した「古紙の品質を守るために(家庭向け)～紙リサイクルの文化を将来につないでいこう～」(冊子)を作成し、製紙・古紙業界関係者、地方自治体に配付した。

## 2) オフィス発生古紙実態調査

全国の事業所から発生する紙のリサイクル状況を把握するため、全国の 6,384 事業所にアンケート調査を実施し、紙リサイクル状況や全国の事業所からの古紙の発生量、資源化量、廃棄量、資源化率の推計結果について報告書に取りまとめた。

また、小規模事業所の古紙回収促進のための「オフィス発生古紙のリサイクル～紙をごみにしないために～」(冊子)を作成し、製紙・古紙業界関係者、地方自治体、全国ビルメンテナンス協会会員等に配付した。

## (2) 古紙品質規格調査

「古紙の統計分類と主要銘柄」、「古紙標準品質規格」、「雑がみ・オフィスペーパーの分別排出基準」を改定した。

## (3) 海外古紙調査

欧州における紙リサイクルの動向等を把握するために、欧州の資源(古紙)回収システムについて調査し、報告書に取りまとめた。

一般社団法人機密情報抹消事業協議会が実施した「ヨーロッパ機密抹消視察調査」に参加し、スウェーデン及びスイスの古紙の回収状況等を調査した。

## (4) 海外統計調査

中国造紙協会、韓国製紙連合会、台湾造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林・製紙協会、RISIの古紙関連統計を収集・整理・分析・加工し取りまとめ、ウェブサイトを活用し、関係各方面に提供するとともに会報に掲載した。

## (5) 新規用途実態調査

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

## (6) 中国市場調査

第 5 回日中古紙セミナーを下記のとおり東京で開催した。

セミナー開催に併せて来日参加者を対象に製紙工場、古紙ヤード等の見学会を開催した。

### 第 5 回 日中古紙セミナー

日 時 : 平成 28 年 11 月 17 日 13 時～16 時 30 分

会 場 : 憲政記念館 講堂

参加者数 : 約 236 名 (国内参加者 213 名、来日参加者 23 名)

テーマ : ①「中国古紙回収業界発展の新しい段階」

中国再生資源回收利用協会 古紙分会会長 孫 建波 氏

②「古紙の循環利用 - 製紙業の発展の強力な原動力 -」

浙江景興紙業有限公司 副総経理兼生活用紙事業部総経理 徐 海偉 氏

③「持続可能な経済発展を支え、共にグリーンな生活環境を実現する CCIC

- 輸入される日本古紙の品質検査に関する探究 -」

中国検査認証集団検査有限公司(CCIC)

海外事業部プロジェクトリーダー 馮 志新 氏



④「古紙品質による問題と対策」

日本製紙株式会社 技術本部生産部長代理 本田 義継 氏

⑤「日本における古紙品質向上の諸方策～J-Brandを中心にして～」

全国製紙原料商工組合連合会 理事長 栗原 正雄 氏

(7) 地方自治体古紙関連施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策に関するアンケート調査について、1,741 の自治体を対象に実施し、報告書に取りまとめ、製紙・古紙業界関係者、地方自治体等に配付した。

(8) 古紙ハンドブック

『古紙ハンドブック 2017』の掲載データを作成した。今回新たに中国の古紙分類等級規範を加えるとともに米国・EU諸国の資源(古紙)回収システムの記載内容を改訂した。

(9) リサイクル対応型紙製商品の開発促進

古紙リサイクル対応協議会 UV インキWGにおいて、洋紙原料に適さない従来型 UV インキ印刷物の色上古紙への混入を防止するため、UV 印刷物の分別とリサイクル対応型 UV インキの普及のためのリーフレットを取りまとめた。

(10) 統計調査

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、下記の統計をまとめ、ウェブサイト等により、製紙・古紙業界関係者、行政機関、一般に提供した。

- ① 年間古紙需給統計
- ② 古紙需給推移(品種別)
- ③ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
- ④ 古紙回収率推移
- ⑤ 古紙利用率推移
- ⑥ 古紙品種別輸出先実績
- ⑦ 古紙品種別輸入先実績
- ⑧ 中国の古紙輸入量(地域別・品種別)
- ⑨ 古紙消費原単位

(11) 外部委員会・その他委員会

- ① 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会
- ② 経済産業省「アジア紙リサイクル構築支援事業」
- ③ ISO/TC130WG11「ISO 印刷技術」国内委員会脱墨分科会

#### 4. 債務保証事業

平成 28 年度期初の債務保証残額はなく、新たな申込みの見込みもないことから本事業についてはその目的が達成されたものと判断されるため、理事会、評議員会において債務保証事業の廃止について機関決定するとともに廃止時期は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 11 条第 1 項に規定する変更認定を受けた日とすることとした。

#### 5. 古紙余剰緊急対策事業

平成 28 年度は古紙余剰等の緊急事態に至らなかったため、本事業は実施していない。

#### 6. その他の事業

各地区委員会において、古紙に関する情報交換、研修会等の活動を実施した。

以 上